

学校における ICT の活用について (GIGA スクール構想)

1 GIGA スクール構想の配備等

① ネットワーク関係

校内 LAN の高速・大容量化

- ・既存 1 GB から 10 GB へ新設することで約 1000 人が同時に通信可能。
- ・体育館が避難所になった場合に、市民にフリーWIFI として利用可能。

② タブレット関係

- ・Chromebook を配備 (耐久性・耐水性、小・中同じ OS 等)
- ・キーボードは脱着式。
- ・充電機能付き保管庫は、基本的に 1 教室に 1 台設置 (42 台収納可能)。
- ・基本的には固定するが、キャスター付きのため移動可能。

③ 大型モニター関係

- ・65 型モニター (横 145 cm×高さ 90 cm程度) を普通教室に配備。
- ・充電保管庫の上に取り付ける。
- ・タブレットの画像等をモニターに WIFI でつなぐことで、児童・生徒に教材等を容易に提示することができる。

2 ソフトウェア関係

導入予定

① 授業支援ソフト：SKYMENU Cloud

- ・課題の配布、提出
- ・動画撮影、共同学習 (電子模造紙)

→教員が児童・生徒に教材等の提示をしたり、あるいは児童・生徒が課題の提出を行うことが容易にできるソフト。

→電子模造紙機能を活用することで、一つの画面上に複数の意見を書き込むことができるなど、共同学習が容易に行うことができる。

→大型モニターと連動して活用することで、学習がより効率的に行える。

② 学習ドリルソフト

→タブレット等を使って個別学習に対応することができる。

→授業での活用や家庭学習での活用が可能である。

③ Google Classroom/Microsoft Office

- ・文書作成、表計算等のソフト

3 クラウド関係

○クラウドの利用

- ・1人1人にアカウント配布→どの端末からもアクセス可能
- ・公的にアカウントを取得するため、種々のアプリの利用は利用基準的にも可能
- ・利用基準の見直しと GIGA スクール構想に関わる機器類等の運用規定の作成
- ・情報モラル教育の必要性が今まで以上に高まる。

4 パイロット校について

- ・富士見小学校、春日野中学校へ依頼（立地条件、学校規模等より決定）
- ・8月中旬から工事開始
- ・12月中旬には操作研修会を開催し、稼働予定

5 パイロット校以外の学校について

- ・8月下旬に調査
- ・10月～3月にかけてネットワーク工事・機器の搬入・設置・動作確認と無線サーベイを経て、稼働予定

6 臨時休校措置への対応（端末配備が完了した場合）

- ・動画の配信
- ・双方向配信
- ・教員作成物の配布等
- ・ドリル学習ソフトの活用

※各家庭の WiFi 環境のアンケートを11月に配布し、下旬に集約予定。

7 その他（導入について検証した上で決定）

※学校連絡・情報共有サービス：COCOO（株式会社137）

- ・欠席連絡、保護者を対象にしたメール配信ソフト
- ・24時間欠席連絡受付（音声ガイダンス機能）